

異常気象の影響？

永野で竹の花が開花

永野岩元の岩下三郎さん所有の竹林で、珍しい竹の花が咲きました。

今回花をつけたのは、モウソウチクで、数本の竹にたくさんの花が咲き緑の竹林の一部分が白くなっています。

持ち主の岩下さんも「最初病気が入ったのかと思った。長い間でこんなことは初めてモウソウチクの花が咲くとは！」と驚いた様子でした。

文献によると竹類はイネの仲間が発芽してから長い年月地下茎で繁殖を続けますが、ある一定の時期になると、花を咲かせ一生を終えます。稲など他の植物では、この「開花周期」が一年程度と短いですが、竹類は花を咲かせるまでの期間がたいへん長く、記録によるとモウソウチクで67年、マダケで120年といわれており、トウチク、ナリヒラダケ、メダケなどその他の竹の周期は、はつきりとわかっていないそうです。また県内では、昭和37年から43年

にかけてマダケが開花し竹林が枯れ、竹材の利用で問題になった記録があります。

竹の花は花穂（一見したところでは分りにくい）がいくつも重なった状態で付き、一つの花穂の先におしべが垂れ下がっています。

この後竹には、つまようじのような種ができる予定です。



▲白くなった竹林



▶モウソウチクの花（拡大）

農業改善計画認定で 農業経営の強化を！

7月7日農業改善計画認定農業者認定式が町長室で実施され、今回5名が認定されました。

認定農業者として認められると各種支援や補助が優遇され、奨励金などを受けることができ現在41名が認定されています。

山口町長はあいさつで「目標に向かって努力していただきたい。他の認定農業者に負けないようがんばってください。」と励ましました。

〔今回認定された方々と目標とする営農類型〕

- 福丸一博さん（尾原）
水稲
- 宮後文春さん（熊田）
梅＋水稲
- 外川内政治さん（武）
水稲＋有機野菜＋梨＋梅＋鶏
- 尾付野勝秋さん（武）
タバコ＋水稲
- 永江友義さん（別野）
生産牛＋水稲



▶今回認定された皆さん

大きなキノコ発見 食べられるのかな？



写真のキノコは、中津川北方町の今村茂雄さん所有の山林に生えていたもので、今村さんが7月11日に用事で山に入ったところ偶然見つけたそうです。キノコは、かさが重なり合っており、一番長い部分の直径が約1メートル20センチ、短い部分が80センチほどの楕円形をしており高さが約60センチあります。キノコの種類は今のと

ころはつきりとは分かりませんが、キシメジの仲間のニオウシメジではないかと思われそうです。なお以前その場所に堆肥が積んであったことから、堆肥に混ざっていた可能性のあるおがくずに菌が付きここまで大きくなったと考えられます。今村さんは、「こんなキノコが生えているのを、初めて見ました。とても大きくて白いのにびっくりしました。」と話されました。